

一 教学入門 ④ 信行学の実践

※御書の空欄箇所は4編とも語群なしでも記入できるように学習して下さい。

() (第一の) ()を信じさせ給へ、
 あひかまへて・あひかまへて・) A ()つよく候て三仏の守護をかうむらせ給うべし、
 (B ()の二道をはげみ候べし、) B (たへなば) ()はあるべからず、
 我もいたし) ()をも教化候へ、行学は) A ()よりをこるべく候、
 カあらば一文一句なりともかたらせ給うべし

末法に入て今日蓮にちれんが唱となる所の題目は前代に異ことり
 () ()に亘わたりて) C ()なり

深く) A ()を發はつして日夜朝暮にちやうぼに又懈たらず磨ひくべし何様にしてか磨くべき
 只) C ()と唱となえたてまつるを是をみかくとは云いふなり

かかる者の弟子旦那だんなとならん人人は宿縁しゆくゑんふかしと思つて
 () ()と同じく法華經を弘ひろむべし

※信行学に関する御書の一節です。カッコの空欄に語群から適切な言葉を選んで下さい。
 ※本文中のA～C欄には同じ言葉が入ります。それは何ですか。

A () B () C ()

一閻浮提 御本尊 信心 仏法 行学 人 我 自行化他
 南無妙法蓮華經 日蓮 釈尊 日夜朝暮

※次の信行学についての文章を、後の語群から言葉を選んで完成させなさい。

「信」は仏の教えを信じて受け入れることです。() ()の境涯を開くための唯一の道
 です。信受することでのみ仏法の法理を得ることができ() ()と表現
 します。

「行」の実践には、自行と() ()の両面があります。
 () ()とは自分が功德を得るための実践であり、具体的は() ()です。
 () ()とは他人に功德を受けさせるために仏法を教える実践であり、具体的には
 () ()です。また広宣流布のための様々な実践活動もこれにあたります。

「学」とは教学と呼ばれる仏法哲理を学ぶことです。大聖人が遺された手紙や論文を集め
 た() ()を拝読して正しい仏法の法理を学ぶことです。

() () () () () ()のいずれが欠けても、正しい仏道修行にはなりません。

以信得入 仏 信 行 学 御書 自行 化他 勤行 弘教